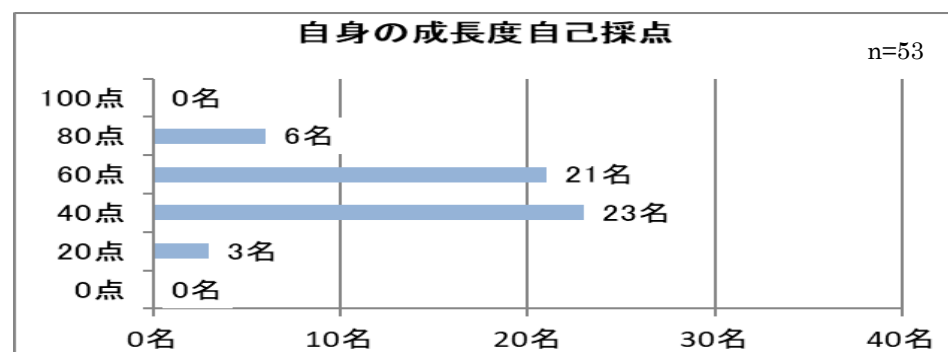


当協会では、2020 年 9 月 29、30 日に入社後半年間が経過した新入社員を対象として、現状の振り返りと新たな目標に向けて高い意欲を持って働く人材へと成長していただくことをねらいに、「新入社員フォローアップ研修」(当協会主催)を開催した。当研修参加者 53 名(18 社より男性 37 名、女性 16 名)を対象に、入社半年間での自己採点や自身の成長度、また、入社時と現在の意識の変化などについて「意識調査」を実施した。研修参加者全員から回答を得て、「新入社員意識調査(フォローアップ編)」をとりまとめた。※2019 年度参加者 81 名(男性 58 名、女性 23 名)

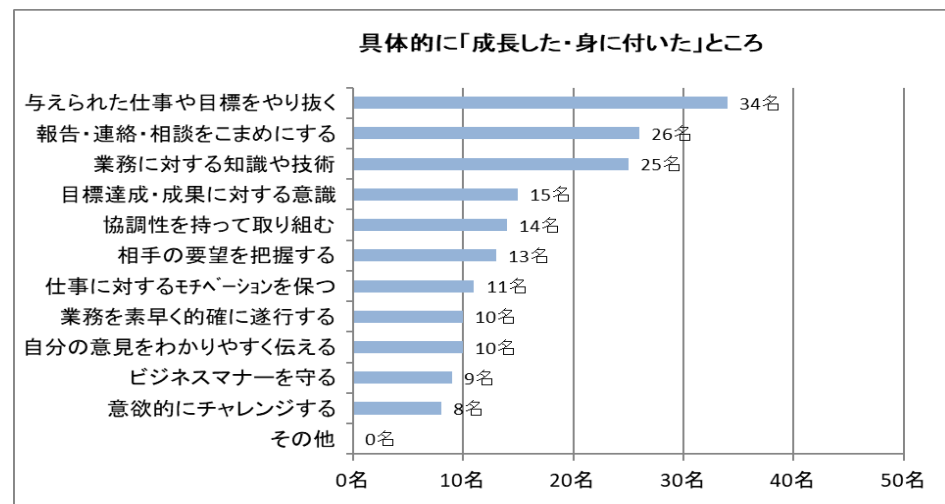
問 1. 入社から半年間経って、自身の成長度を自己採点してください。

自己採点では、40 点が 23 名と最も多く、次いで 60 点が 21 名、80 点が 6 名、20 点が 3 名、100 点満点はいなかった。平均点は 51 点で、昨年度(56 点)同様控えめな自己採点結果であった。



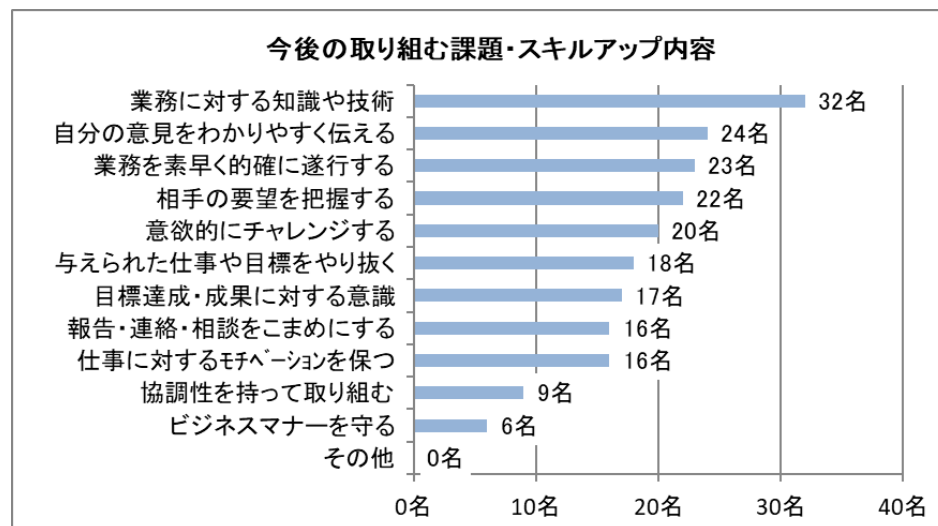
問 2. 具体的にどの部分が「成長した・身に付いた」と思いますか？
(複数回答)

「与えられた仕事や目標をやり抜く」が 34 名と最も多かった。次いで「報告・連絡・相談をこまめにする業務に対する知識や技術」が 26 名、「業務に対する知識や技術」が 25 名と続いている。
「与えられた仕事や目標をやり抜く」・「ハウレンソウ」などの社会人としての基本や、「業務に対する知識や技術」といったテクニカルスキルの成長を多く実感している結果となった。



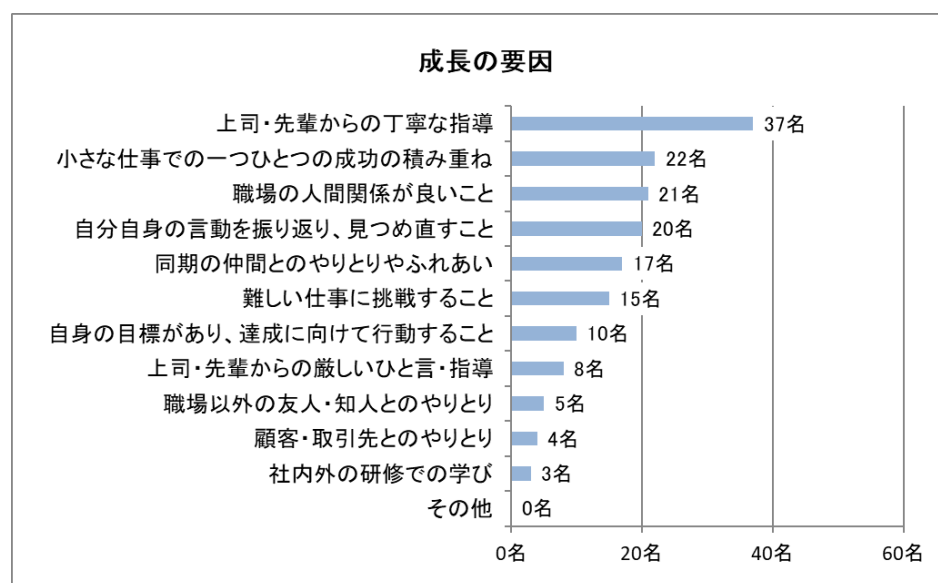
問 3. 今後、取り組む課題、スキルアップしたい内容は？(複数回答)

「業務に対する知識や技術」が 32 名と昨年度(42 名)同様に最も多かった。次いで「自分の意見をわかりやすく伝える」が 24 名、「業務を素早的確に遂行する」が 23 名と昨年同様の順番が続いている。



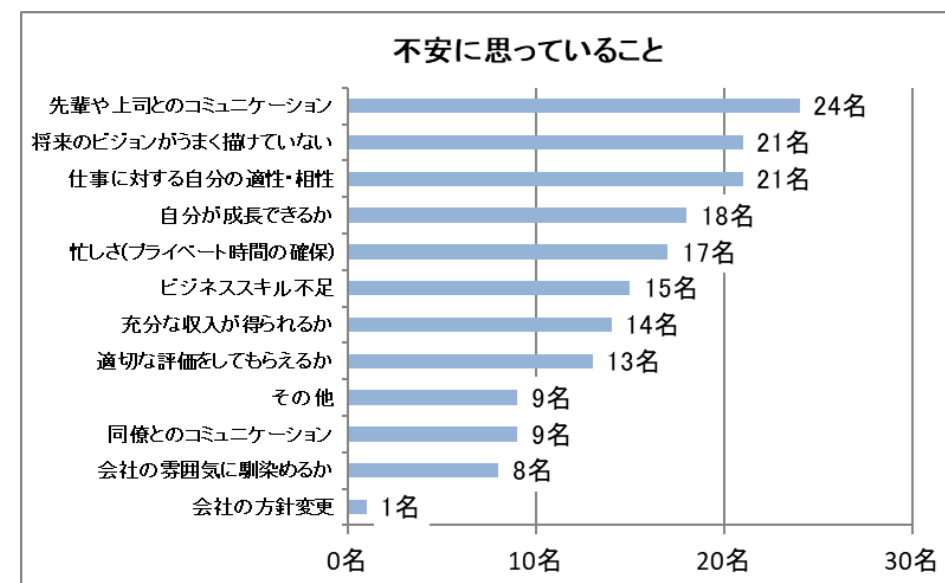
問 4. 「成長の要因」はどのようなことだと考えていますか？(複数回答)

「上司・先輩からの丁寧な指導」が 37 名と最も多かった。次いで「小さな仕事での一つひとつの成長の積み重ね」が 22 名、「職場の人間関係が良かったこと」が 21 名と続いている。



問 5. 現在、不安に思っていることは？(複数回答)

「先輩や上司とのコミュニケーション」が 24 名と最も多く、次いで「将来のビジョンがうまく描けていない」「仕事に対する自分の適性・相性」が並んで 21 名、「自分が成長できるか」が 18 名と続いている。

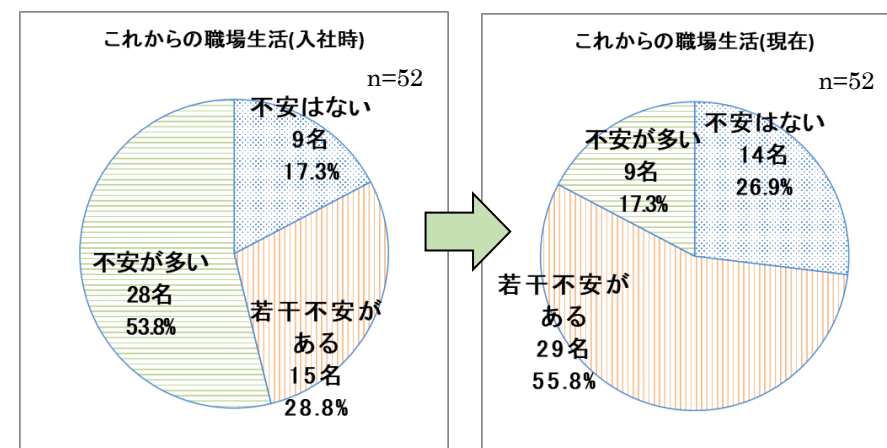


問 6 以降は、入社後半年間が経過しての心境の変化等を調査するため、「入社時」と「現在」の思いを回答してもらった。

問 6. これからの職場生活に対する思いは？

「不安はない」は入社時が 9 名(17.3%)であったが、半年が経過した現在は 14 名(26.9%)と約 10 ポイント増加。一方で「不安が多い」は入社時 28 名(53.8%)、現在は 9 名(17.3%)と約 36.5 ポイント減少した。

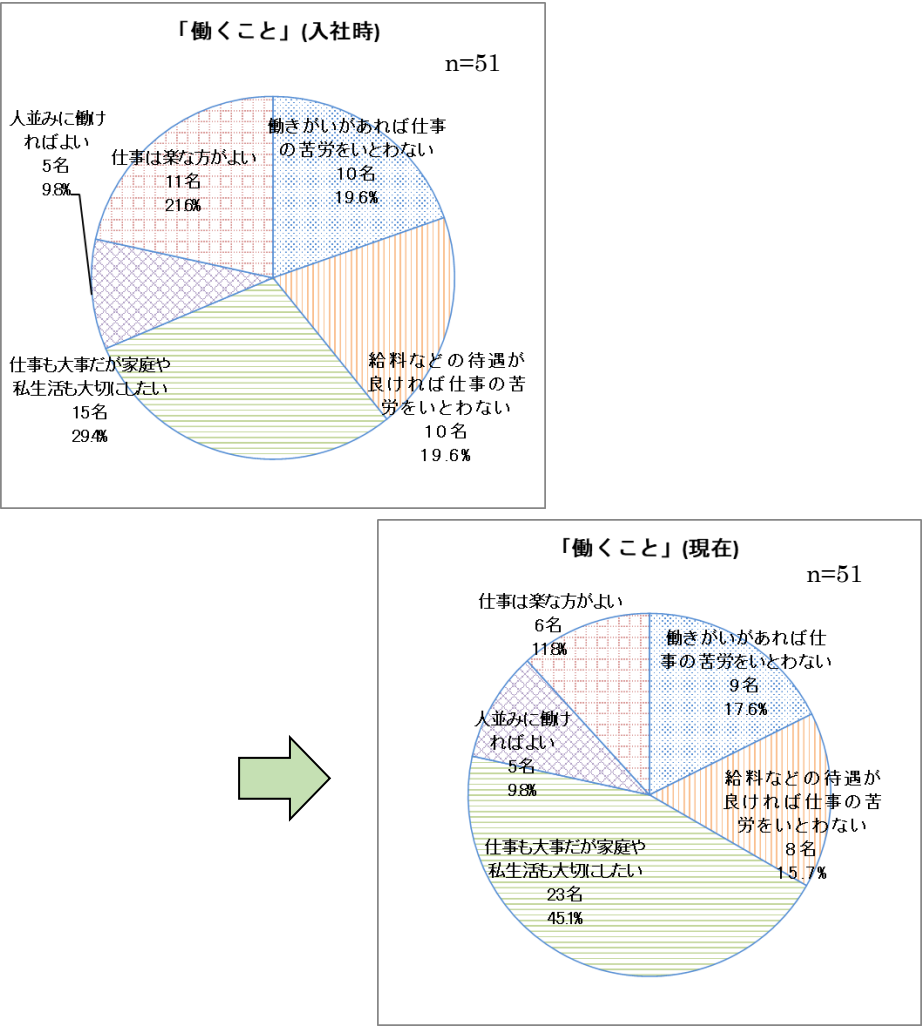
※2019 年度「不安はない」が入社時 9 名→現在 25 名(30.9%)
2018 年度「 」が入社時 10 名→現在 14 名(19.2%)



(裏面へ続く)

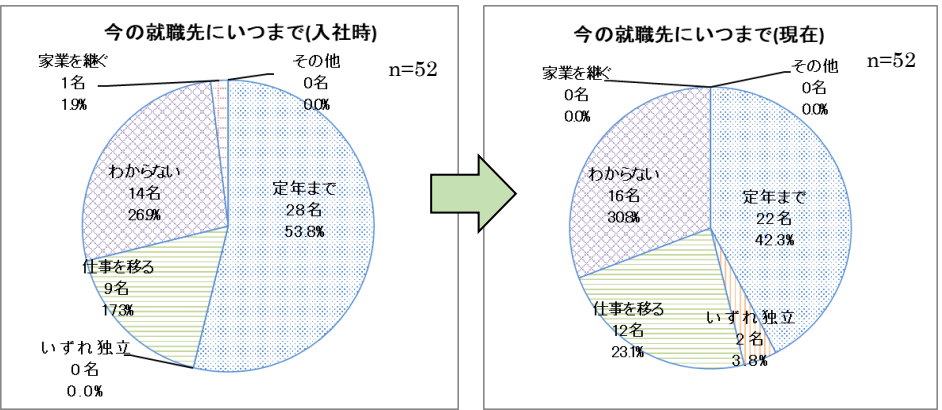
問7. 「働く」 ことについて自分の考えに最も近いものは？

半年が経ち大きく変化があったものは「仕事も大事だが家庭や私生活を大切にしたい」で、入社時が 15 名(29.4%)→現在は 23 名(45.1%)と大きく増加した。昨年および一昨年と同傾向にある。



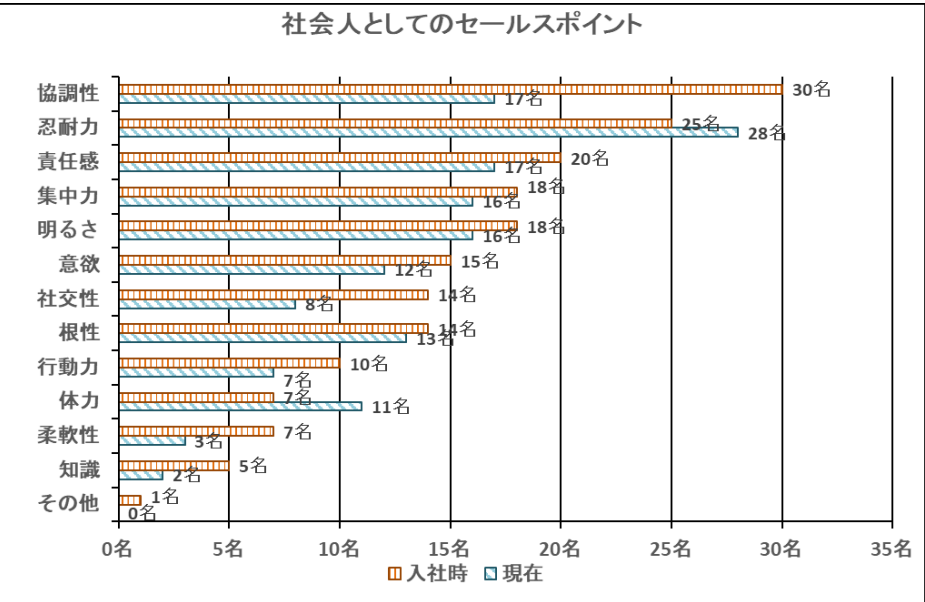
問8. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

入社時と現在を比較し、「定年まで」は、入社時 28 名(53.8%)→現在 22 名(42.3%)と約 11 ポイント減少した。「仕事に移る」は、9 名(17.3%)→12 名(23.1%)と約 6 ポイント増加した。



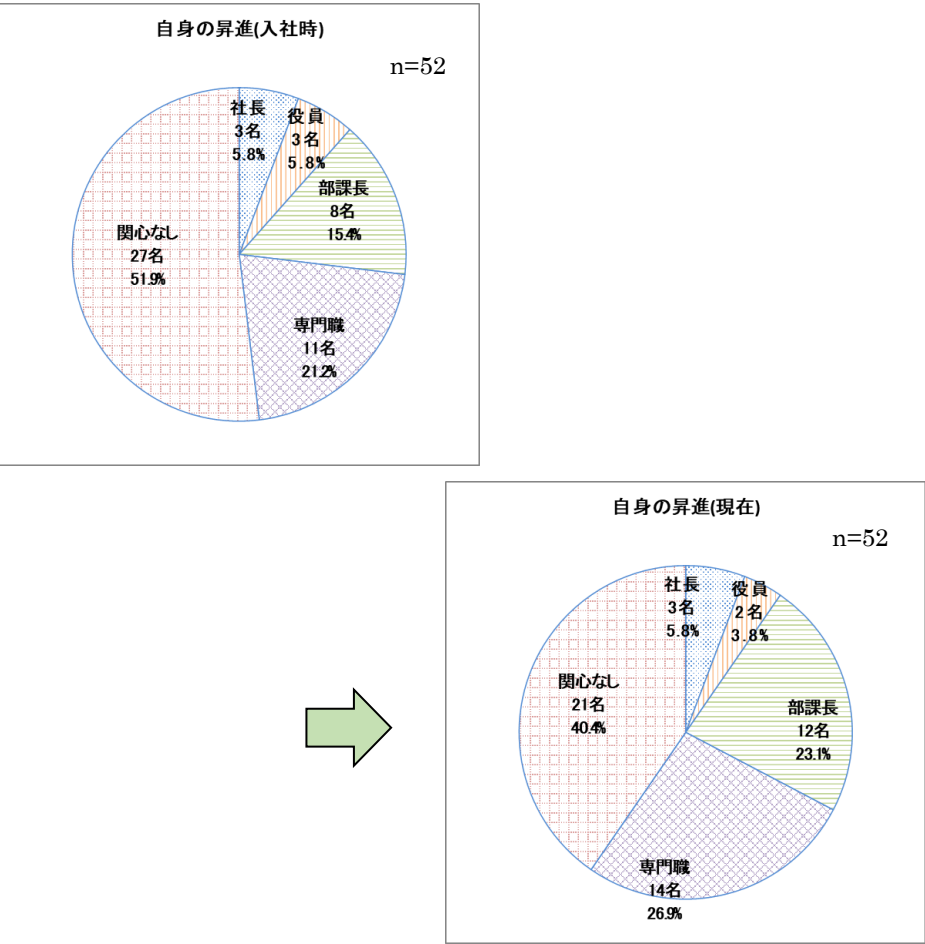
問9. 社会人としての自身のセールスポイントは？(3 つまで選択可)

入社から半年が経ち、増えた主な項目は「忍耐力」入社時 25 名→現在 28 名、「体力」7 名→11 名であった。



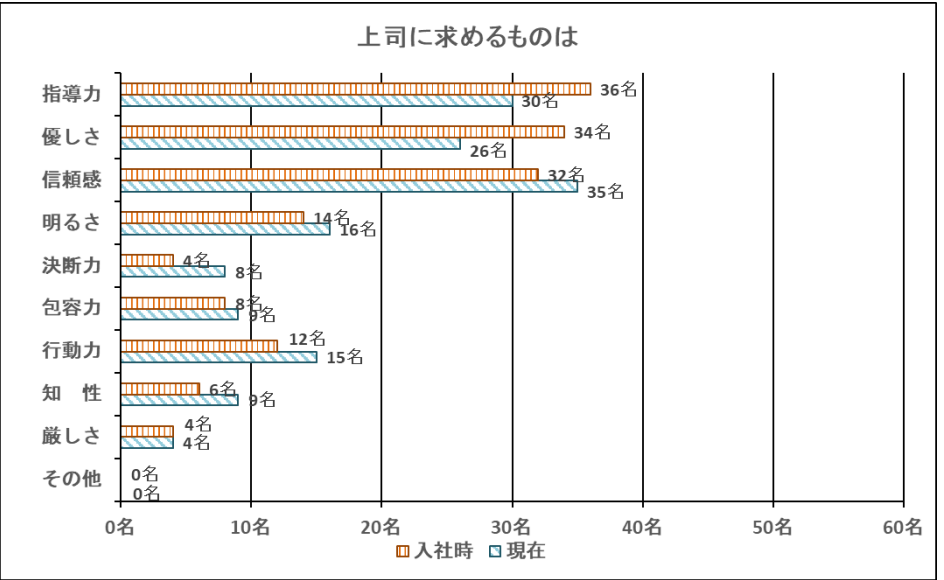
問10. 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

入社時と比べて大きな変化はないが、「関心なし」は 27 名(51.9%)→21 名(40.4%)となった



問11. 上司に求めるものは？(3 つまで選択可)

入社時も現在も「指導力」「信頼感」「優しさ」が上位を占めている。「優しさ」が入社時 34 名→現在 26 名、「指導力」が入社時 36 名→現在 30 名と減った反面、「信頼感」32 名→35 名「行動力」12 名→15 名などが増加となった。



まとめ

- ・社会人となり半年が経ち、上司・先輩の指導、職場の人間関係等を通して社会人としての成長を実感している（問4より）。今後の課題として業務スキルや自身のコミュニケーションスキルの更なる向上を挙げている（問3より）。
- ・職場生活に対する「不安がない」との回答が、過年度の調査より増加傾向（問6より）にあり、不透明な経済情勢・雇用環境である中、職場内の人間関係は良好と考えられる（問3より）。
- ・入社時と比べ「定年まで」働くという意思が減り、現職を変える意向の項目が増加傾向にある（問8より）。その原因として、不安要素に記載のある「将来のビジョンが不透明」・「モチベーションの維持」・「上司へ相談しにくい」などが考えられる（問5より）。
- ・以上により、企業では人手不足が続いており、人材確保の観点から、若手社員の定着率を向上させる取り組みが課題となる。柔軟な働き方がしやすい仕組み、環境づくりやエンゲージメントの向上による現状把握・管理職の「マネジメントスキル」の向上などが考えられる。

以 上